

【文学部 学部間協定留学】留学報告書

記入日	2025年1月16日
所属	演劇学(学科/専攻)
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2024年12月26日
明治大学卒業予定年月	2026年3月

留学先大学について

留学先国	韓国
留学先大学	高麗大学 (日本語名) 고려대학교 (現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	韓国語/英語・韓国語
留学期間	2024年8月～2024年12月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): (現地言語での名称): <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例:1 学期/4 月上旬～7 月下旬、 2 学期/9 月中旬～2 月上旬	1 学期:3 月～6 月末 2 学期:9 月初旬～12 月末 3 学期: ~ 4 学期: ~

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (won)	日本円	備考
授業料	-	-円	通常通り明治大学に支払い
宿舎費	1,713,600 원	約 18 万円	
食費	1,520,000 원	約 16 万円	
図書費	120,000 원	約 15000 円	テキスト代
学用品費	8,000 원	約 900 円	ノート
携帯・インターネット費	185000 원	約 2 万円	外国人登録カード発行後3ヶ月契約
現地交通費	200,000 원	約 25000 円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	700,000 원	約 8 万円	交際費
被服費	600,000 원	約 65000 円	夏服メイン・ヨガウェア等購入
医療費	26,800 원	約 3000 円	薬代金(3回利用)
保険費	-	37,090 円	形態:大学推奨の保険
渡航旅費	1,000,000 원	約 10 万円	一時帰国の金額含める
ビザ申請費	30,000 원	約 3500 円	外国人登録カード申請代金
雑費	180,000 원	約4万円	カフェ・スタディーカフェ・カラオケ
その他	400,000 원	約5万円	美容
その他	-	-円	
合計	約 670 万원	約 78 万円	

渡航関連
渡航経路
往路 出発地:羽田 目的地:金浦 経由地:
復路 出発地:金浦 目的地:羽田 経由地:
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:日本航空+アシアナ航空(就活のため一時帰国, 仁川⇄成田) 料金:¥62,240+304,900 원
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:日本航空 HP、アシアナ航空 HP) <input type="checkbox"/> その他()

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:フロンティア館) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 2 人)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

大学の案内から寮の HP のリンクにとび、申請フォームを出しました。申請時は留学生が対象となる CJ という寮を選択していましたが、人数の関係で現地の学生が利用するフロンティア館に滞在することになりました。

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

申請フォームは先着順で、当日はかなり回線が混み合うので、通信速度が早いパソコンを使用することをお勧めします。実際、私も 30 分後くらいに申請完了し、ギリギリでした。フロンティア館は自炊・デリバリー禁止なので、寮のエリアにあるコンビニ CU か食堂、外食の三択で バラエティが少なく途中から日本食に飢えていました。日本のお菓子やふりかけを持っていくだけでも日本を感じられるのでお勧めします。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

なし
あり(治療を受けた場所:現地の薬局)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あつた場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし
あり(問題の内容や相談した人等:)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

たびレジ

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

携帯電話は外国人登録カードができる前は 3 週間の旅行者向けの e-SIM(SK テレコム)を使用していました。登録カード発行後は、ソウルナビで登録カードと紐付けた3ヶ月通信契約をしました。ソウルナビは全て日本語で行うので、韓国語に自信がない人でも安心して契約することができるでお勧めです。また、携帯契約時に外国人登録番号を紐づけると、本人認証や使える機能・アプリが増えるでお勧めします。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

外国人登録カードができるまでは三井銀行の VISA カードを使用していました。このカードは銀行のグローバル ATM にも対応しており、お金の入金・引き出しが可能だったので、現地でのメインカードになりました。しかし、たまに一部キオスクで対応不可だったので、複数枚日本のカードを用意しておいた方がいいです。韓国銀行口座を開設してからは、使用手数料がかからず出費が少し抑えられることやどの端末にも対応していることから、こちらのカードをメインカードとしていました。韓国では、基本的に割り勘の際、誰かが代表して支払い、後日その人の銀行口座に送金してお金を返すというやり方が主流なので、口座はあった方が便利だと思います。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

基本的に、日本でしか買えないものはないです。ただ、現地で値段を見ると非常に高額な価格で売られていることが多いので、お菓子や文房具など特定のものが好きな方は是非日本で購入し、持参することをお勧めします。そのほか、強いていうならば、歯ブラシを持っていった方がいいです。韓国の歯ブラシはどれもヘッドの部分が大きく、奥まで磨きにくい歯ブラシが多い印象でした。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)	
1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
16 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 10 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった: 19 単位まで	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Media	メディア入門
科目設置学部・研究科	メディア学部
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	이명선
授業内容	主にメディア学に必要な基本的な内容を扱っています。メディア学の歴史や社会とメディアの関係性、近年のメディアやメディアのこれからの課題点など、学術的に様々な観点からメディアを考察していきます。
試験・課題など	中間レポート・期末レポート
感想を自由記入	この授業は英語、別時間に韓国語で開講されているため、各々の得意言語に沿って使用言語を選択することができます。基本的に課題はなく、中間・最終の二つのレポートと出席数でグレードが付けられます。この授業はクラス内ディスカッションではなく、本当に同じような座学タイプでした。一限だったので、頑張って起きて学校に行っていました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Media and Popular culture in Korea	韓国大衆文化とメディア
科目設置学部・研究科	メディア学部
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 225 分が 1 回
担当教授	박지훈
授業内容	韓国の大衆文化(映画・ドラマ・K-pop を当時の歴史の流れや風潮と関連づけながら、メディアが持つ効果や韓国という国について考察していく。)
試験・課題など	中間プレゼンテーション・中間試験・チームビデオ作成・期末試験

感想を自由記入	日本の大学ではあまり見られない、チームプロジェクトが2つ(チームプレゼンテーション・ビデオプロジェクト)と中間(multiple choice&essey)・期末(2つの大きなテーマに基づく essey)試験があり、他の授業と比べると少々負担が大きかった印象です。ただ、韓国の大でしか学べないな内容や韓国のエンターテイメントを理解できる授業だったので、履修てきて良かったと思っています。
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Strategic Communication Research	戦略的コミュニケーション研究
科目設置学部・研究科	メディア学部
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	임소영
授業内容	SNS や POP UP イベントといったステイクホルダーと企業が相互的に影響し合う新たなマーケティング方法「Strategic Marketing」を学習します。授業内では、これらのマーケティング方法以外にも、マーケティングに必要な知識や考えも教えてくれるので非常に有意義な授業でした。
試験・課題など	中間試験・チームプロジェクト・期末試験
感想を自由記入	高麗大学はビジネスの分野に強いことでも有名なので、最先端の研究やトップクラスの生徒と毎回行われるディスカッションは非常に刺激的でした。ただ、扱う内容や課題、テスト、チームプロジェクトでの立案と 15 ページほどの英語の企画書書くなどかなり求められることが多いので、沢山授業を履修している人や英語が得意ではない人にはお勧めしないです。実際自分もとても苦労しました(笑)日々英語を学習し、忘れていた英単語を思い出したり、毎日英語を聞いたり、英語力を取り戻していく作業を行うと授業に主体的に参加できるようになりました。また、マーケティングの知識を何も知らないと英語が聞き取れても理解することができなかつたので、事前に日本語で予習したり、ppt をざつと確認してから授業に挑むと学びが多く得られました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
일본문화콘텐츠	日本文化コンテンツ
科目設置学部・研究科	文学部日本語学科
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が2回
担当教授	엄인경
授業内容	韓国語で開講されている授業である。日本特有の文化や遺産、伝統芸能について扱う。
試験・課題など	課題あり(3つくらい)、中間試験・チーム発表 or 個人研究レポート・期末試験
感想を自由記入	世界から見た日本に非常に興味関心があり、客観的に日本という国や文化を考察したかったので、この授業を履修しました。興味関心で履修したもの、韓国語初心者にはかなりハードルが高かったです(笑)何とか周りのサポートや先生に相談して、クレジットを取ることができましたが、発表準備のミーティングや 1 人 4 分間の発表、テストの出題(回答は日本語で大丈夫でした)での使用言語はもちろん韓国語なので、日本を扱った授業ですが、韓国語初心者にはかなりチャレンジする必要がある内容でした。私なりの見解ですが、TOPIK 4 級以上取得している人はついていけると思いますが、それ以下の方はかなりの努力が必要です。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
한국어초급(알하기)	韓国語初級 2(会話)
科目設置学部・研究科	教養
履修期間	秋学期
単位数	2
本学での単位認定状況	1単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が2回
担当教授	김정윤
授業内容	主に文法の復習をしつつ学習した文法に沿ったスピーキング練習を行う。
試験・課題など	中間試験・1分スピーチ・期末試験
感想を自由記入	最初にレベルチェックを行い、自分のレベルにあった授業あるいは少し背伸びした授業を選び、履修します。私は、レベルチェックテストで少しこの授業は難しいかもと言われましたが、一個以下の授業の最終目的が趣味が言えるレベル(自己紹介できるレベル)だったので、もっと高みを目指したいということでレベルを下げずにこの授業を履修しました。先生は絵や簡単な韓国語を用いて説明してくださるので、非常にわかりやすかったです。また授業内では、しっかりと授業でインプットした内容をアウトプットできる時間を設けてくださるので、韓国語が大きく飛躍したように感じます。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
한국어초급(쓰기)	韓国語初級2(書き)
科目設置学部・研究科	教養
履修期間	秋学期
単位数	2
本学での単位認定状況	1単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が2回
担当教授	김양숙
授業内容	レベルはスピーキングと同じレベルで、初級文法を習い、それらを用いたライティング練習を行う。また、韓国でのメールの書き方や手紙の書き方も併せて学習する。
試験・課題など	中間試験・期末試験
感想を自由記入	한국어초급(알하기)とクロスした部分があり、相互で文法を確認、習得することができました。この授業もインプットする時間だけでなく、アウトプットする時間、そして先生がチェックしてくださる時間があったので、非常にためになった授業でした。

卒業後の進路について	
1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)	
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:	
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など	
マイナビ、興味のある企業の HP	
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えて下さい。また、その企業を選んだ理由も教えて下さい。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えて下さい。	
内定はまだいただいておりません。留学中も就職活動を行ってはいたものの、対面に行けないなどある程度の制約があるため、エントリー やオンライン説明会の参加など、ゆるく活動していました。希望業界は、本学で学習している演劇学や留学先で学習したメディア学が活かせるエンターテイメント業界を主に志望しております。また、留学先でたまたま履修した戦略マーケティングが想像以上に面白く、興味深かったため、現在はエンターテイメント業界以外にも、日常生活でよく目にするような商品を扱うメーカーのマーケティング部やレジャーの運営などにも範囲を広げて就職を考えています。	
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。	
留学中も就職活動を行っていたものの、学業や語学の勉強など他にもやることが多く、9月10月はほとんどできていませんでした。そのせいもあり、数社ほど冬インターンにエントリーし忘れていたり、企業や自己分析ができるないままになっていたりと、今でもギリギリのスケジュール感で就職活動を行っています。このような状況にならないために、就職活動を並行して留学に行く予定の皆さんには、以下3つのことは必ずやっておいた方が後悔なく就職活動も留学も遂行できると思います。	
①必ず語学は留学前にある程度固めてからいく ②自己分析や企業研究、SPI や WEB テストの試験対策はコソコツと計画を立てて行うこと ③気になる企業はエントリー忘れを防ぐためにマイページ登録を済ませてから渡航すること	
留学して感じたことは、渡航するとまずは現地の生活や留学先の大学に慣れる必要があるため、意外とマルチにあれもこれも行うことは厳しいです。また、現地で就職活動を行っている友達が少なかったです。いかに遊びと就職活動との間でけじめをつけて、自分にストイックに励んでいくかが鍵になると思うので、就職活動を現地で行う予定の方は自分に対する誘惑に負けずに頑張ってください！！	
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えて下さい。	
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。	
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。	

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例:語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	留学を考え始める、留学先の国を考える
	4月～7月	留学先大学調べ
	8月～9月	留学面談(?)、留学先大学の事前調べや留学体験記をたくさん読む
	10月～12月	英語勉強
留学開始年	1月～3月	英語勉強、韓国語ハングルから開始、履修確定期間
	4月～7月	6:ワクチン接種、ビザ・寮申請、渡航前書類 7:留学直前説明会、履修申請
	8月～9月	8:渡航準備、外国人登録カード申請、大学 OT、9:授業開始
	10月～12月	10:中間試験 11:グループ 12:期末試験
留学/帰国年	1月～3月	帰国届・留学体験記／就職活動
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

私が韓国を留学先として選んだ理由は、舞台芸術にとどまらず、ドラマや映画といったさまざまなメディアを通じたエンターテイメントについて学びたいという思いがあったからです。近年、韓国のエンターテインメント業界は世界的に注目を集めており、K-POP や韓国ドラマ、韓国映画が国際的に評価されています。その背景には、優れたクリエイティブな制作手法や体系化されたメディア戦略があると考え、それらを学び、自身の専門分野である演劇研究をさらに深めるきっかけにしたいと思いました。そこで、英語圏の国ではなく、非英語圏である韓国を選びました。また、韓国のある数ある大学の中から高麗大学を選んだ理由は、2点あります。一つ目は時期がちょうど良く、自身の就職活動に間に合う時期に帰国できる 1 セメスター制の留学があったこと、二つ目は高麗大学特有のグローバルな授業展開です。韓国語は第二外国語として履修していなかったものの、高麗大学には英語でのプログラムが充実している点が大きな魅力でした。多くの授業が英語で開講されており、韓国語に不安がある私でも安心して学べる環境であると感じました。そのため、言語的な壁を越えながら新しい視点で学びを得られる場所として、高麗大学を選びました。さらに、高麗大学は国際的な留学生が多く集まる環境であり、多様な文化や考え方方に触れることで自身の視野を広げることができると確信したこともこの大学の決め手となりました。留学生活を通じて、さまざまな挑戦と成長の機会がありました。初めの頃は特に言語面での困難を感じました。渡航後すぐに外国人登録カードの申請を行いましたが、入学証明書がまだ発行されておらず、手続きがスムーズに進まないという問題がありました。後日オリエンテーションで入学証明書が配布されることを知り、その後に手続きを行った方が良かったと感じたので、今後韓国に留学に行かれる方は渡航後すぐに行くのではなく、学校が始まりだしたタイミングで申請手続きを行うことをお勧めします。また、外国人登録の申請予約は非常に早く埋まるため、渡航前に予約を済ませた方がいいです。こうした事務手続きでは、韓国語でしか対応してもらえない場合があり、当時の私は非常に苦労しました。英語での会話を試みても、相手側は韓国語で押し通していました。到着後、直行で申請しに行ったので、まだ現地に頼れる人も知り合いも近くにおらず、非常に心細く不安な気持ちだったことを覚えています。この経験は、渡航直後から一番壁にぶつかった経験と言えるほどトラウマ的な経験でした。しかし、このような状況を乗り越えることができたのは、周囲の仲間や現地の学生たちのサポートのおかげです。留学生として現地の学生と関わる機会が多く、韓国語を教えてもらったり、手続きや生活上の悩みを相談したりする中で、彼らの親切さと温かさに何度も助けられました。また、留学生同士のネットワークも心強いもので、情報を共有し合いながら共に困難を乗り越えることができました。このような人との繋がりが、私の留学生活を大きく支えてくれました。振り返ると、韓国語の未熟さが原因でコミュニケーションがスムーズにいかないことも多々ありましたが、その分、日々努力する中で少しずつ語学力が向上していく実感を得られました。また、高麗大学は非常に国際的な環境で、韓国語だけでなく英語を使用する機会も多く、二つの言語を同時に学ぶ挑戦ができたことは貴重な経験でした。これから留学を目指す方にお伝えしたいことは、「語学を含めた留学準備は現地で始めるのではなく、渡航前から計画的に進めるべき」ということです。私は韓国語初心者として現地に向かい、日々の生活や授業を通して学びを深める努力をしましたが、やはり渡航前に語学の基礎をもつとしっかり身につけていれば、さらに充実した生活が送れたのではないかと感じる場面が多くありました。特に、韓国語をもう少し流暢に話せていたなら、現地での活動範囲が広がり、新たな友人や経験も増えていたのではないかと思います。留学中は学業や課題に追われる事も多く、思うように語学学習に時間を割けない場合もあります。そのため、渡航前に基礎 + α の語学力を身につけておくことで、現地での経験をより円滑に深めることができます。高麗大学はグローバルな環境が整っており、多国籍の留学生と交流する機会が多くあります。その中で、韓国語と英語の両方を学びながら、さまざまな文化に触れる経験は、私にとって大きな財産となりました。私は編入で演劇学を専攻した結果、単位の関係で留学に行くかどうか迷いましたが、最終的に挑戦して良かったと思っています。もし現段階で、少しでも学びたいという意欲や留学に対して興味がある方がいれば、ぜひ一歩を踏み出して挑戦してみてください。私のような韓国語初心者の方でも、現地での学びや周囲のサポートを通じて乗り越えることができました。勇気を持って新たな挑戦をすることで、大きな成長と満足感を得られると思います。応援しています！